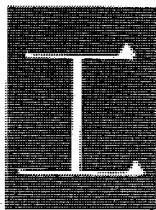
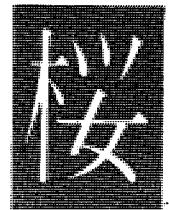


1963-33

桜

工

日本大学工科校友会



日本大学工科校友会誌

1963/VoL. 8 /No.33

■勉学の姿勢／永田菊四郎 (4)

○津田沼の学生座談会

／新設学科生の悩みと希望 (7)

竹沢輝正・奥山浩一・狩野裕一・斎藤英倫

・藤野徹・富樫英樹・清岡進・石谷政幸

司会／宮崎由成

■斎藤謙次先生の回想／師ありき (下) (13)

■良寛さまを慕う私／松島 俊之 (26)

■北欧の旅から／杉村 俊一 (31)

■理工学部の顔 1／精密機械工学科 (16)

○グ ■脚光あびる日大の精密機械工学科

○ラ ■実習にはげむ／交通工学科の学生たち

ビ ■バカンスのなかのお勉強／楽しか

ア ったこの夏の報告から

■バカンスのなかのお勉強／軽井沢のES (23)

S・美ヶ原の美術研究会・白馬山ろくの茶道

研究会・榛名湖の混成合唱団

■支部だより／神奈川支部定時総会盛会におわ
る (34)・国鉄桜友会総会開く (35)・桜水会
支部総会 (37)・福島支部で初の総会 (37)

■会合だより／土木12回卒業生20周年記念同窓
会 (35)・東運桜工会結成 (35)・七土会 (36)
・土三会 (36)・小糸製作所桜門会 (36)・薬
学科大阪同窓会 (37)

■学友短信／地方庁の土建部門で校友めざまし
い活躍 (37)

■表紙解説は28ページをごらんください

桜工／第33号
昭和38年10月20日印刷／25
日発行
編集兼発行人／高木政司
発行／日本大学工科校友会
東京都千代田区神田駿河
台1の8／電話東京(291)
3351内線206／振替東京
162710
本文印刷／鉄鋼新聞印刷部
グラビア／スター・グラビア

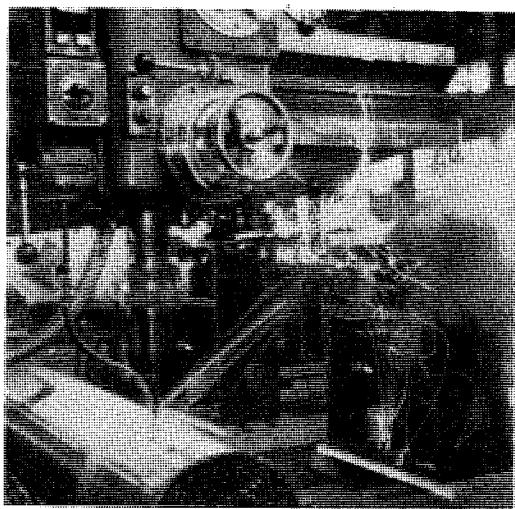
会誌委員 幸田太一／下青木秀吉／篠本勝美／藤田 幹／笠井芳夫／大内 順／新沢
順悦／篠原博／寺内良郎／大塚喜作／宮尾利政／谷原 斉／山内 盛

—表紙説明—

最近の経営学ブームで、科学的管理の重要性が次第に認識され、あらゆる分野に、その考え方や手法が、いろいろな形で導入されつつあるが、この写真は作業研究の分野で動作を分析する際に用いられる手法の一つで、サイクルグラフと呼ばれている。これはサイクルの短い、しかも繰り返し性の高い作業の分析に適している。

方法は、分析しようとする身体部位に光源をとりつけ、写真機のシャッターを開いておいて、身体の動きの軌跡を一枚のフィルムに写す、この軌跡を検討して作業方法や動作の改善をおこなうのである。表紙の写真は良い動作の軌跡で、右に掲げた写真は、同じ作業でムダな動作が含まれていることが複雑な線によって示されている。この他これと同じような方法で、動作の方向と時間を同時に捉えようとするものにクロノサイクルグラフがある。

この手法は、科学的管理の始祖といわれているアメリカの泰ラーと共に忘れる事のできない、同じくアメリカのギルブレスによって開発されたものである。現在では、アメリカでは、作業



者の教育訓練用として作業を行う際の動作のパターンを示すのに利用されている程度で、あまり広く用いられていないようであるが、むしろヨーロッパ、特にイギリスやドイツでは作業改善などにも使われており、より積極的に用いられているようである。

谷 原 齊（本学経営工学教室・会誌委員）